

講義情報

講義情報番号	
講義表題情報	
* 開講学年1	2
* 入学年度1	2013～
* 対象学科1	法学
* 科目名1	国際法A
担当教員情報	
* 担当教員	杉島正秋
講義詳細情報	
* 講義目的・講義内容	この講義では、国際法の基本的特徴と機能を受講者に理解してもらうこと、日本の国際問題について国際法的な視点から考える姿勢を身につけることの二つを大きな目的にしています。 この講義では、まず国際法を理解する上で必要な基本用語を解説します。つぎに国内社会と比較して、国際社会にはどのような特徴があるのか、そこで機能している国際法は、どのような機能を営んでいるのかを説明します。 国際法は、とかく国家間関係を規律するルールとして説明されがちですが、私たち日本に住む人々が、ひとりが国際法とどのような接点を持つのかを理解してもらうことに、この講義では力点をおきます。
* 到達目標	①国際社会の特徴について国内社会との対比において理解し、説明できること。 ②国際法の基本的特徴について知り、なぜそのような特徴を備えているのかを理解し、説明できること。 ③明治以降の日本が国際法とどのように関わってきたのか、高校までの学習を踏まえて整理し、説明できること。 ④国内法と国際法の関係を知り、国際法が日本社会にどう適用されているのかを理解したうえで、説明できること。
* 授業計画・授業外学習	1.国際社会の構造と国際法の特徴 事前学修:高校世界史の復習(2時間) 事後学修:テキスト1章を読み国際法の特徴をまとめる(2時間) 2.条約(成立要件と効果) 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:条約の特徴と役割を整理する(2時間) 3.慣習法(成立要件、強行規範) 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:慣習法の特徴と役割を整理する(2時間) 4.国家の成立要件と国家承認 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:未承認国である北朝鮮と日本の関係を整理する(2時間) 5.人的管轄権について、特に犯罪人引き渡し 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:犯罪人引渡の現状を整理する(2時間) 6.植民地支配と国際法 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:戦争違法化の歴史的展開を整理する(2時間) 7.戦争の違法化と国際法 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:人民の自決権が植民地独立に果たした役割を整理する(2時間) 8.国際法と国内法の関係 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:国際法の直接適用に関連する裁判例を整理する(2時間) 9.外国人の地位と国際法 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:国内問題不干渉の原則が現代国際法においてどう変わったか整理する(2時間) 10.越境損害と国際責任 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:トレイル熔鉱炉事件仲裁判決の内容を整理する(2時間) 11.環境の国際的保護と国際法 事前学修:テキスト11章を読む(2時間) 事後学修:地球温暖化防止と生物多様性保護に関する国際法ルールを整理する(2時間) 12.世界貿易機関(WTO)と国際経済法 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:経済連携協定EPAについて整理する(2時間) 13.個人の国際法責任 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:国際刑事裁判所ICCの活動について整理する(2時間) 14.近代日本と国際法 事前学修:Moodle上の資料を読む(2時間) 事後学修:不平等条約が有効とされた背景を整理する(2時間) 15.WTOとワクチンの安定供給 事前学修:テキスト全体を読み返す(2時間)
* 履修の条件・注意事項	講義資料、出欠席課題などはMoodleから配信しますので、必ずMoodleに登録してください。 歴史学などの歴史関係科目を履修していることを希望します。近現代の世界史を、高校の教科書などで受講前におさらいしておいてください。
* 成績評価基準・方法	定期試験(40%)、毎回の課題(60%)により総合的に評価を行います。 出席者には毎回課題を適宜与え、提出内容に基づき評価します。出欠席のみでの評価は行いません。 遠隔の場合、定期試験、課題提出はMoodle上で行います。評価基準は同じです。
* テキスト	芹田健太郎編『コンパクト学習条約集』第3版 信山社 ISBN: 978-4-7972-5913-1 自作テキスト(UNIPA上で提供)
参考書	小室直樹『国民のための戦争と平和』ビジネス社 2018年 ISBN:978-4-8284-2004-2